古文化

受け継がれる、日本屋根の伝統美。

第114号

熊野那智大社 本殿
［和歌山県東牟婁郡那智勝浦町］

公益社団法人　全国社寺等屋根工事技術保存会

表紙 ● 古文化にロマンを求めて

那智の御瀧・飛瀧大社

熊野那智大社（くまのなちたいしゃ）

［和歌山県東牟婁郡那智勝浦町］

由　緒

紀伊半島の東南を古来熊野といいます。熊野とは奥深い処、隈るとも申しそこは神秘性のある所、即ち神々の住まえる所であり、あこがれの土地として尊んだ処であります。往古神武天皇が御東征の折、この地に上陸され、那智の滝に大己貴神（おおなむちのみこと）を祀り、八咫烏（やたがらす）の案内で山々を越えて大和に入られたのであります。

仁徳天皇5年（317）、那智の滝より社殿をこの地に移し、熊野の神々を祀られたのが「熊野那智大社」の起りです。後に仏教、修験道の隆盛と共に熊野権現として崇められ、上皇、女院、武将や庶民の参拝が増し、継続として詣でる様子を「蟻の熊野詣」と称しました。

御社殿は熊野造りと申し、現在の建物は豊臣の世に再興し、享保・嘉永の大改修を経て昭和10年（1935）の御修復で、平成7年（1995）国指定文化財となっています。

熊野信仰の歴史

熊野は本州の最南端の地であり、太平洋の黒潮海流により気候は温暖にして山は重畳と連なり、山紫水明の景勝の地であります。

古代より、神の国、常世の国、美し国として栄え、ここに熊野三山「熊野本宮大社・熊野速玉（はやたま）大社・熊野那智大社」が鎮座したことが「帝王編年記」「扶桑略記」「水鏡」などに著されており、古くは「古事記」、「日本書紀」には国生み神話とともに、イザナギ・イザナミ・スサノオをはじめ多くの神々が熊野を舞台にしており、神武東征説話にも意義深いものがあります。熊野は、古代から大和、出雲と共に栄えた地であり、今にして未知の世界であります。

全国約4千社と云われる熊野神社の総本社

熊野には自然を畏敬した古代山岳信仰が始まり、仏教の伝来により密教思想が山岳信仰と合致し、神仏習合の世界が開け、永くその伝統が続いたものであります。

この神仏習合の信仰は、平安初期に熊野別当が認められ熊野は聖域として朝廷からも敬われることになりました。この様なことを熊野比丘・比丘尼・修験者達が全国に熊野信仰と共に広め、慈愛の精神文化は人々を熊野詣へと駆りたてたのです。

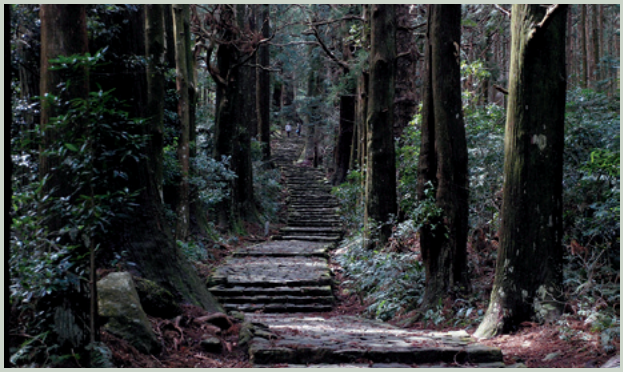
那智の御滝「飛瀧神社」

那智の御滝　日本三大名滝の一つ

那智の奥、大雲取（おおくもとり）連山から流れ出ている流水が大滝となっており、全山に那智48滝と申す様に数多の滝があります。中でも熊野那智大社の別宮、飛瀧神社のご神体として古くから人々の畏敬を集めてきた那智の滝は、「一の滝」とも申し、高さ133m、銚子口の幅13m、滝壺の深さ10m以上の名瀑です。

この滝の上流には二の滝、三の滝があり、国の名勝となっており、総称して那智の大滝と申します。

熊野古道


当時の面影を色濃く残している熊野古道 大門坂【写真提供／熊野那智大社】

熊野古道は、往古熊野詣の人々が通った道を指します。京洛の地より山川80里、片道15日間の行程であり、道中の御子神を祀り信仰の道を繋ぐために設けられた神社「熊野九十九王子」で有名であります。

当社附近には大雲取・小雲取越えや、登り口にそびえる樹齢800余年を経た夫婦杉のある大門坂が昔の石畳の姿のまま今に残っており、参詣者を出迎えます。国指定の歴史の道として保護されております。

【世界遺産】熊野那智大社等を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年7月7日に、日本で12番目の世界遺産として登録されました。

平成 29 年度
第 8 回 定時会員総会の開催　事業報告など

5月16日（火）に京都市文化財建造物保存技術研修センターに於いて、第8回定時会員総会を開催いたしました。38期事業報告、収支決算などについて慎重に審議され、原案通り議決、承認されました。

平成28年度 事業報告

❶文化財屋根葺士養成研修事業（国庫補助事業）

1）第21期生 養成研修 修了式

人　　数●4名
日　　時●平成28年4月13日（水）10：30～11：45
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

2）第22期生 養成研修 開講式

人　　数●4名
期　　間●平成28年4月13日（水）10：30～11：45
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

3）第22期生 養成研修 開始（前期）

人　　数●4名
期　　間●平成28年5月11日（水）～10月18日（火）
研修場所●京都研修センター、奈良方面他
研修区分●講義144時間、実習864時間

❷檜皮採取者（原皮師）養成研修事業（国庫補助事業）

1）第16期生 初級養成研修 修了式

人　　数●3名
日　　時●平成28年4月13日（水）10：30～11：45
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

2）中級研修生（原皮師）研修開始

人　　数●27名
期　　間●平成28年8月22日（月）～平成29年2月17日（金）
研修場所●国有林／［中部森林管理局管内］賤母・蘭（木曽）［近畿中国森林管理局管内］臥牛山・黒木・那岐山（岡山）、坂ノ谷（兵庫）、高野山・権現山（和歌山）、笹ヶ丸（広島）、城山（山口）
市有林／［河内長野市］千石谷文化財の森（大阪）
民有林／岡室進（三重）、落合幾三（埼玉）楊谷寺（京都）、湯原山八幡宮（山口）、湖南市（滋賀）
演習林／九州大学農学部附属（福岡）、京都大学フィールド科学教育研究センター里域ステーション 徳山試験地（山口）
研修区分●実習2016時間（内査定会24時間）

3）採取指導者会議

参 加 者●20名（指導員1名、原皮師14名、会長、担当理事3名、事務局1名）
期　　日●平成28年5月25日（水）
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●事業方式、指導要項

4）査定会ランク付協議会

参 加 者●5名（指導員1名、担当理事3名、事務局1名）
期　　日●平成29年3月6日（月）
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●査定ランク付け

5）檜山の調査及び打合せ

❶調査場所●賤母国有林（長野県木曽郡）
調 査 員●4名（指導員1名、担当理事2名、事務局1名）
期　　日●平成28年5月24日

❷調査場所●河内長野市有林千石谷ゾーン（大阪府河内長野市）
調 査 員●3名（指導員1名、担当理事1名、事務局1名）
期　　日●平成28年6月1日

❸調査場所●高野山国有林（和歌山県伊都郡）
調 査 員●2名（指導員1名、担当理事1名）
期　　日●平成28年6月7日

❹**調査場所**●城山国有林（山口県岩国市）
調 査 員●6名（指導員１名、原皮師2名、担当理事2名、事務局1名）
期　　日●平成28年6月8日

❺**調査場所**●笹ヶ丸国有林（広島県安佐北区）
調 査 員●4名（指導員1名、原皮師1名、担当理事1名、事務局1名）
期　　日●平成28年6月9日

❻**調査場所**●那岐山・黒木国有林（岡山県勝田郡）
調 査 員●4名（指導員1名、原皮師2名、担当理事1名）
期　　日●平成28年6月21日

❼**調査場所**●坂ノ谷国有林（兵庫県宍粟市）
調 査 員●5名（指導員１名、原皮師１名、担当理事２名、事務局１名）
期　　日●平成28年6月23日

❽**調査場所**●河内長野市有林（大阪府河内長野市）
調 査 員●1名（指導員1名）
期　　日●平成28年8月22日

①**打合場所**●近畿中国森林管理局（大阪市北区）
人　　数●4名（担当理事3名、事務局1名）
期　　日●平成28年6月3日

②**打合場所**●和歌山森林管理署（和歌山県田辺市）
人　　数●2名（担当理事2名）
期　　日●平成28年6月6日

③**打合場所**●岡山森林管理署（岡山県津山市）
人　　数●2名（担当理事２名）
期　　日●平成28年6月20日

④**打合場所**●京都研修センター（京都市東山区）
人　　数●3名（担当理事2名、事務局1名）
期　　日●平成28年8月24日

⑤**打合場所**●岡室民有林（三重県熊野市）
人　　数●5名（指導員1名、原皮師4名）
期　　日●平成28年9月20日

⑥**打合場所**●京都研修センター（京都市東山区）
人　　数●4名（担当理事3名、事務局1名）
期　　日●平成29年1月10日

⑦**打合場所**●京都研修センター（京都市東山区）
人　　数●3名（担当理事2名、事務局1名）
期　　日●平成29年1月26日

⑧**打合場所**●南木曽支署（長野県木曽郡）
人　　数●3名（担当理事2名、事務局1名）
期　　日●平成29年3月8日

❶**挨 拶 地**●権現山国有林（和歌山県新宮市）
人　　数●1名（指導員1名）
期　　日●平成28年12月5日

❷**挨 拶 地**●楊谷寺（京都府長岡京市）
人　　数●1名（担当理事1名）
期　　日●平成29年1月10日

①**見学会会場**●和歌山県森林管理署（和歌山県伊都郡）
人　　数●1名（担当理事1名）
期　　日●平成28年9月5日

②**見学会会場**●森林計画検討委員及び森林管理局関係（長野県木曽郡）
人　　数●1名（指導員1名）
期　　日●平成28年10月12日

③**見学会会場**●南木曽小学校（長野県木曽郡）
人　　数●１名（指導員１名）
期　　日●平成28年10月13日

④**見学会会場**●京都大学・周南市連携講座（山口県周南市）［京都大学・周南市主催］
人　　数●1名（原皮師1名）
期　　日●平成28年10月15日

⑤**見学会会場**●長野県林業大学校（長野県木曽郡）
人　　数●1名（指導員１名）
期　　日●平成28年10月28日

6）中級研修生（原皮師）採取技術査定会
参 加 者●30名（研修生10名、査定員10名、正会員9名、事務局1名）
期　　間●平成28年10月3日（月）～5日（水）
会　　場●賤母国有林（長野県木曽郡）

7）歩道整備
参 加 者●4名（指導員1名、原皮師3名）
期　　間●平成28年6月6日（月）～10日（金）
場　　所●賤母国有林（長野県木曽郡）

❸茅葺師養成研修事業（国庫補助事業）

1）第３期生 茅葺師養成研修（初級）修了式

人　　数●４名
日　　時●平成28年４月13日（水）10：30～11：45
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

2）第４期生 茅葺師養成研修（初級）開講式

人　　数●４名
日　　時●平成28年４月13日（水）10：30～11：45
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

3）第４期生 茅葺師養成研修（初級）前期 開始

人　　数●４名
期　　間●平成28年５月11日（水）～平成29年２月18日（土）
研修場所●［講義］京都研修センター（京都市東山区）等
［実習］山南研修センター（兵庫県丹波市）
西の湖（滋賀県近江八幡市）
研修区分●講義80時間、実習240時間

4）茅葺師養成研修（中級）

人　　数●２名
期　　間●平成28年６月27日（月）～７月９日（土）
研修場所●鳥取県立むきばんだ史跡公園（鳥取県西伯郡）
内　　容●茅葺研修
研修区分●実習108時間

5）中級技術研修

人　　数●３名（指導員１名、研修生２名）
期　　間●平成28年11月８日（火）～26日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
内　　容●中級者研修

6）指導員養成研修

人　　数●５名（指導員候補１名、研修生４名）
期　　間●平成28年12月６日（火）～10日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
内　　容●指導員養成研修

7）茅葺協議会（フォーラム）

参 加 者●52名
期　　日●平成28年７月８日（金）
会　　場●鳥取県立むきばんだ史跡公園（鳥取県西伯郡）
内　　容●建物・現場見学及び協議会

8）茅収納庫入荷の茅調査視察（自主事業）

調査場所●大内宿（福島県南会津郡）
調 査 員●２名（担当理事２名）
期　　間●平成28年７月10日（日）・11日（月）

❹「主任文化財屋根葺士」検定会

1）檜皮・柿屋根葺士の認定（京都市助成金）

❶第16回（檜皮・柿葺）
人　　数●４名（檜皮・柿葺士）
期　　間●平成28年９月26日（月）～10月１日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
事業内容●主任文化財屋根葺士の認定（檜皮・柿葺）

❷採　点
人　　数●２名（担当理事２名）
期　　日●平成28年10月12日（水）
場　　所●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●第16回検定会採点

❸採　点
人　　数●１名（担当理事１名）
期　　日●平成28年10月14日（金）
場　　所●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●第16回検定会採点

❹合格発表
人　　数●４名（檜皮・柿葺士）
期　　日●平成28年10月28日（金）
場　　所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
内　　容●第16回検定会合格発表他

2）茅葺師の認定（京都市助成金）

❶第８回（茅葺）
人　　数●２名（茅葺師）
期　　間●平成28年９月26日（月）～10日１日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
事業内容●主任文化財屋根葺士の認定（茅葺）

❷採　点
人　　数●２名（担当理事２名）
期　　日●平成28年10月12日（水）
場　　所●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●第８回検定会採点

❸合格発表
人　　数●２名（茅葺師）
期　　日●平成28年10月28日（金）
場　　所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
内　　容●第８回検定会合格発表他

3) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参 加 者●31名（正会員12名、名誉会員5名、準会員14名）
日　　時●平成28年12月3日（土）10：30～12：30
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●認定証の更新講習会

5部会

茅部会（国庫補助事業）

❶第1回
人　　数●11名
日　　時●平成28年4月15日（金）10：00～14：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●茅葺に関する問題点等

❷第2回
人　　数●11名
日　　時●平成28年6月14日（火）10：00～14：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●茅葺に関する問題点等

6研修会

1) 第7回指導者研修会

参 加 者●21名（正会員18名、名誉会員1名、企画委員2名）
日　　時●平成28年7月22日（金）13：30～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「不揃いの木を組む」
［講師］鵤工舎　小川 三夫

2) 文化財研修会

参 加 者●85名
日　　時●平成28年9月14日（水）12：50～16：00
会　　場●竹林寺（広島県東広島市）
内　　容●【建造物・保存修理現場見学】
［見学場所］竹林寺本堂保存修理現場
［説明］（公財）文化財建造物保存技術協会 事業部 国宝出雲大社本殿ほか22棟 設計監理事務所長 副参事　岡 信治
【講話】「竹林寺の歴史について」
［講師］竹林寺 住職　佐伯 修芳
【講演】「小屋組と屋根葺」
［講師］文化庁文化財部参事官（建造物担当）付 修理企画部門 主任文化財調査官　豊城 浩行

7普及啓発事業

1) 特別講座

【後援／公益財団法人 大学コンソーシアム京都】

❶第1回
参 加 者●34名
日　　時●平成28年7月9日（土）14：00～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「木に生きる～現代の銘木師を目指して～」
［講師］株式会社 千本銘木商会 常務取締役　中川 典子

❷第2回
参 加 者●31名
日　　時●平成28年8月27日（土）14：00～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「イギリスの紙の歴史」
［講師］京都ノートルダム女子大学 教授　小林 順

❸第3回
参 加 者●32名
日　　時●平成28年9月17日（土）14：00～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「和歌で巡る京都名所観光～「京都百人一首歌かるた」紹介をかねて」
［講師］京都ノートルダム女子大学 教授　堀 勝博

❹第4回
参 加 者●68名
日　　時●平成28年12月3日（土）14：00～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「植治の庭～近代京都の庭造り～」
［講師］造園植治 十一代当主　小川 治兵衛

2) 日本の技 体験フェア（文化庁主催）

人　　数●8名（会長、担当理事2名、監事1名、企画委員4名）
期　　間●平成28年10月21日（金）～23日（日）
会　　場●ヤマダグリーンドーム前橋（群馬県前橋市）
内　　容●模型展示、屋根葺道具、パネル展示、屋根材拵え実演、屋根葺体験
来 場 者●5480名

3) 木質科学と木工芸2016 見学

人　　数●4名（会長、担当理事1名、屋根葺士2名）
期　　日●平成28年9月20日（火）
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●伝統的屋根葺技術の紹介、檜皮葺実演、屋根葺体験等
参 加 者●約10名

4) 京都女子大学 家政学部 生活造形学科「伝統技法演習」

人　　数●5名（会長、担当理事2名、屋根葺士2名）
期　　日●平成28年11月16日（水）
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●伝統的屋根葺技術の説明、檜皮材拵え実演、屋根葺体験
引 率 者●京都女子大学　教授　斎藤 英俊、非常勤講師　村田 信夫
参 加 者●学生 約70名

5) 平成28年度 ふるさと文化財の森システム推進事業 普及啓発事業「森が支える日本の技術2016 公開セミナー」（文化庁と契約）

期　　日●平成28年11月5日（土）・6日（日）・11日（金）、平成29年2月18日（土）
後　　援●京都府教育委員会、京都市教育委員会、近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所、公益財団法人 大学コンソーシアム京都、公益財団法人 京都古文化保存協会、公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団、安土町商工会
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）、清水寺（京都市東山区）、鞍馬山国有林（京都市左京区）、高台寺山国有林（京都市東山区）、仁和寺 観音堂保存修理現場（京都市右京区）、西の湖（滋賀県近江八幡市）

【将来の担手養成に関するプログラム】

●文化財建造物を支える資材・技術に関する講義
［参加者］42名（若手技術者、建築を専門とする学生 他）
［日　時］平成28年11月5日（土）10：15～11：45
［会　場］京都研修センター（京都市東山区）
［演　題］「文化財を支える森林」
［講　師］東京大学大学院 教授　山本 博一

●保存修理現場見学
［参加者］13名（講義参加者）
［日　時］平成28年11月5日（土）・6日（日）
13：00～14：30
［場　所］仁和寺 観音堂保存修理現場（京都市右京区）

【資材採取方法の実演、展示、研修】

●檜皮採取実演
［参加者］51名（講義参加者）
［日　時］平成28年11月5日（土）・6日（日）
13：00～14：30
［会　場］高台寺山国有林（京都市東山区）

●ふるさと文化財の森を活用した資材育成・確保の取組（パネル展示）
［日　時］平成28年11月5日（土）・6日（日）
9：30～16：00
［会　場］京都研修センター（京都市東山区）
［パネル展示内容］
伊砂砂神社、観智院（東寺）、貴志御霊神社、細川家（四国中央市）、北方八幡宮、湊社（出雲大社）、出口老松神社、保存修理現場関係者

●資材の重要性の理解、採取方法を習得するための研修
①ヒノキの植樹
［参加者］8名
［日　時］平成28年11月11日（金）9：00～13：00
［場　所］鞍馬山国有林（京都市左京区）

②葦刈研修
［参加者］13名
［日　時］平成29年2月18日（土）8：30～12：00
［場　所］西の湖（滋賀県近江八幡市）

【文化財講演会】

［参加者］37名（一般応募者）
［日　時］平成28年11月6日（日）10：15～11：45
［会　場］京都研修センター（京都市東山区）
［演　題］「賀茂の文化と式年遷宮を支える森」
［講　師］賀茂別雷神社（上賀茂神社）
宮司 田中 安比呂

【檜皮葺を支える山と人～子供向けプログラム～】

［参加者］3組7名（京都市内の小学生と親）
［日　時］平成28年11月6日（日）10：00～16：00
［会　場］清水寺・高台寺山国有林・京都研修センター（京都市東山区）
［講　師］公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 理事　栗山 弘忠、大野 浩二

【京都府名誉友好大使の活用】

［人　数］4名
［期　間］平成28年11月5日（土）・6日（日）
［協　力］京都府国際課

6）「未来につなぐ匠の技」～伝統的屋根工事技法の紹介～

参 加 者●約1500名
期　　日●平成28年11月5日（土）・6日（日）
会　　場●清水寺（京都市東山区）
内　　容●文化財を支える技術の公開（養成研修事業の公開）
・檜皮材、柿板拵え、茅葺の実演
・檜皮葺竹釘打ち、柿葺竹釘打ち、柿板へぎ体験等

❽文化財修理用屋根葺資材の確保事業

刈 取 量●大内宿茅場／刈取束数81段
河内長野茅場／刈取束数 960束

❾檜皮採取契約（国有林は買受申込）

1）契 約 日●平成28年7月7日
採取場所●河内長野市有林（大阪府河内長野市）

2）契 約 日●平成28年7月25日
採取場所●［岡山森林管理署］
黒木国有林（岡山県津山市）
那岐山国有林（岡山県勝田郡）
臥牛山国有林（岡山県高梁市）

3）契 約 日●平成28年8月9日
採取場所●［広島森林管理署］
笹ヶ丸国有林（広島県広島市）

4）契 約 日●平成28年8月16日
採取場所●［兵庫森林管理署］
坂ノ谷国有林（兵庫県宍粟市）

5）契 約 日●平成28年9月1日
採取場所●［和歌山森林管理署］
高野山国有林（和歌山県伊都郡）

6）契 約 日●平成28年9月8日
採取場所●［南木曽支署］
賤母国有林（長野県木曽郡）

7）契 約 日●平成28年9月8日
採取場所●［南木曽支署］
蘭国有林（長野県木曽郡）

8）契 約 日●平成28年10月6日
採取場所●［山口森林管理事務所］
城山国有林（山口県岩国市）

9）契 約 日●平成28年10月17日
採取場所●岡室進民有林（三重県熊野市）

10）契 約 日●平成28年11月11日
採取場所●落合幾三民有林（埼玉県秩父市）

11）契 約 日●平成28年11月22日
採取場所●［和歌山森林管理署］
権現山国有林（和歌山県新宮市）

12）契 約 日●平成28年12月22日
採取場所●九州大学農学部附属演習林（福岡県糟屋郡）

13）契 約 日●平成29年1月6日
採取場所●京都大学フィールド科学教育研究センター里域ステーション 徳山試験地（山口県周南市）

14）契 約 日●平成29年1月27日
採取場所●楊谷寺境内林（京都府長岡京市）

15）契 約 日●平成29年2月28日
採取場所●湯原山八幡宮所有林（山口県岩国市）

16）契 約 日●平成29年2月28日
採取場所●湖南市民有林（滋賀県湖南市）

❿賃貸事業

京都市文化財建造物保存技術研修センター

❶文化財関係
期　　間●平成28年4月～平成29年3月
貸 与 先●京都市、文化財畳保存会、社寺建造物美術保存技術協会、全国伝統建具技術保存会、文化財建造物勉強会

❷その他
期　　間●平成28年4月～平成29年3月
貸 与 先●日本シャーロックホームズクラブ関西支部、京都旅企画等

⓫会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報を発行。

［古文化］ 第111号／平成28年７月31日発行
第112号／平成28年11月30日発行
第113号／平成29年３月31日発行

［手　練］ 第 11 号／平成28年８月31日掲載(HPのみ)

⓬その他法人の目的を達成するために必要な事業

1）全国文化財保存技術連合会

平成28年度総会

日　　時●平成28年10月22日(土)18：00～18：50
会　　場●前橋マーキュリーホテル 新館2階（鶴奥の間）（群馬県前橋市大友町3 -24- 1）
議　　題●①平成27年度事業報告及び収支決算について
②平成29年度事業計画及び収支予算について

2）公益社団法人 国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議

森林環境教育（森林ESD）促進に向けた意見交換会

日　　時●平成29年1月25日(水)13：00～17：00
場　　所●トイーゴ(長野市)
内　　容●森林環境教育（森林ESD）の促進方策を検討するための会議

3）文化財修理技術保存連盟

研 修 会

日　　時●平成29年2月4日(土)15：00～18：00
場　　所●リーガロイヤルホテル京都（京都市下京区）
内　　容●講演他

4）公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟

平成28年度伝統技術保存団体連絡協議会

日　　時●平成29年3月21日(火)14：00～17：20
会　　場●ルビノ京都堀川（京都市上京区）
内　　容●文化財の保存と修理技術の伝承

収支決算書総括表

平成28年4月1日から平成29年3月31日

1．収入の部

（単位；円）

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
入会金等収入	710,000	710,000						
会　費　収　入	7,482,000	7,482,000						
寄　付　金　収　入	0	0						
国庫補助金収入	47,988,000					8,000,000	10,000,000	29,988,000
助　　成　　金	1,000,000				1,000,000			
負　担　金　収　入	3,604,797				480,091	1,510,594	479,612	1,134,500
雑　　収　　入	100,954	2,641	96,063	2,202	15	3	6	24
事　業　収　入	16,048,980		15,650,420	398,560				
受　託　費　収　入	1,419,986		1,419,986					
繰　入　金　収　入	3,000,000	1,500,000		1,500,000				
当期収入合計	81,354,717	9,694,641	17,166,469	1,900,762	1,480,106	9,510,597	10,479,618	31,122,524
前期繰越収支差額	12,297,289	599,901	11,440,836	256,552	0	0	0	0
収　入　合　計	93,652,006	10,294,542	28,607,305	2,157,314	1,480,106	9,510,597	10,479,618	31,122,524

2．支出の部

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
一　般　管　理　費	15,588,230	9,112,687	5,180,944	1,294,599				
管　理　委　託　費	561,708			561,708				
茅場保存事業費	0							
茅場管理事業費	127,382		127,382					
売上材料原価	1,715,400		1,715,400					
屋根養成研修費	9,510,597					9,510,597		
茅葺技能者研修費	10,479,618						10,479,618	
採取者養成研修費	31,122,524							31,122,524
養成関連事業費	526,511		526,511					
研修会事業費	1,569,446		1,569,446					
普及活動事業費	3,356,063		3,356,063					
檜皮採取事業費	17,345		17,345					
助成金事業費	1,480,106				1,480,106			
繰　入　金　支　出	3,000,000		3,000,000					
当期支出合計	79,054,930	9,112,687	15,493,091	1,856,307	1,480,106	9,510,597	10,479,618	31,122,524
当期収支差額	2,299,787	581,954	1,673,378	44,455	0	0	0	0
次期繰越収支差額	14,597,076	1,181,855	13,114,214	301,007	0	0	0	0

平成29年度事業計画

❶文化財屋根葺士養成研修事業（国庫補助事業）

第22期生 後期の研修開始

人　　数●4名
期　　間●平成29年5月8日(月)～10月14日(土)予定
研修区分●講義200時間　実習776時間
見学場所●京都方面等
実習場所●広島方面等

❷檜皮採取者（原皮師）養成研修事業（国庫補助事業）

1）第17期生 初級養成研修 開講式

人　　数●4名
日　　時●平成29年4月12日（水）10：30～11：50
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

2）第17期生 初級養成研修 開始

人　　数●4名
期　　間●平成29年8月21日（月）～平成30年2月16日（金）予定
研修場所●［講義］京都研修センター（京都市東山区）等
［実習］国有林／［中部森林管理局管内］蘭（長野）、［近畿中国森林管理局管内］高野山（和歌山）
市有林／［河内長野市］千石谷文化財の森（大阪）
民有林／岡室（三重）、楊谷寺（京都）、九大演習林（福岡）
研修区分●講義32時間、実習864時間（内査定会16時間）

3）中級研修生（原皮師）研修開始

人　　数●25名
期　　間●平成29年9月4日(月)～12月15日(金)予定
研修場所●［近畿中国森林管理局管内］地獄谷（奈良）、宮島（広島）
研修区分●実習608時間（内査定会16時間）

4）研修会（指導員補助養成研修）

参 加 者●21名
期　　日●平成29年5月23日（火）
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）

5）森林管理署等の巡回視察

人　　数●15名
期　　間●平成29年4月～8月 予定
場　　所●中部森林管理局管内（長野）、近畿中国森林管理局管内等（奈良、兵庫、広島、和歌山、山口）

6）研修生（原皮師）採取技術査定会

参 加 者●27名
期　　間●平成29年10月5日（木）・6日（金）予定
場　　所●宮島国有林（広島）

7）檜山の調査（自主事業）

人　　数●15名
期　　間●平成29年4月～8月 予定
調査場所●中部森林管理局管内及び近畿中国森林管理局管内他

8）檜皮採取 原皮師研修（自主事業）

人　　数●25名
期　　間●平成29年10月10日（火）～平成30年2月9日（金）予定
研修場所●国有林／［中部森林管理局管内］（賤母）、［近畿中国森林管理局管内］坂ノ谷（兵庫）、城山（山口）
民有林／徳山試験地（山口）
研修区分●実習680時間

❸茅葺師養成研修事業（国庫補助事業）

1）第4期生 茅葺師養成研修（初級）後期の研修開始

人　　数●4名
期　　間●平成29年5月8日（月）～8月23日（水）
研修場所●［講義］京都研修センター（京都市東山区）等
［実習］山南研修センター（兵庫県丹波市）等
研修区分●講義80時間、実習240時間

2）茅葺師養成研修（中級）

人　　数●4名
期　　間●平成29年9月4日(月)～10月31日(火)予定
研修場所●安養寺（京都府京丹後市久美浜町）
事業内容●全国の中級茅葺技能者を対象とし、技術の保存と後継者の養成

3）茅葺協議会（茅葺きフォーラム）

人　　数●50名
期　　日●平成29年9月26日（火）予定
会　　場●安養寺（京都府京丹後市久美浜町）
事業内容●全国の技能者を対象とし、茅葺の協議会

4）茅部会

参 加 者●13名
期　　日●平成29年5月17日（水）
研修場所●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●「主任文化財屋根葺士」検定会及び茅葺に関する問題点

5）茅刈研修

人　　数●15名
期　　日●平成30年2月 予定
研修場所●西の湖（滋賀県近江八幡市）
事業内容●全国の技能者を対象とし、茅刈りの体験実習

6）研修場所の調査視察

人　　数●2名
期　　日●平成29年7月 予定
調査場所●未定

❹「主任文化財屋根葺士」検定会

1）檜皮・柿屋根葺士の認定（京都市助成金）

第17回（檜皮・柿葺）
人　　数●4名
期　　間●平成29年10月16日（月）～21日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
事業内容●檜皮・柿葺士として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺士を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

2）茅葺師の認定（京都市助成金）

第9回（茅葺）
人　　数●2名
期　　間●平成29年10月16日（月）～21日（土）
研修場所●山南研修センター（兵庫県丹波市）
事業内容●茅葺師として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺師を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価する。合格者には認定書を発行する。

3）主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参 加 者●14名
期　　日●平成29年11月25日（土）予定
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●認定証の更新講習会

❺研修会

1）指導者研修会

❶第1回
参 加 者●30名
期　　日●平成29年5月16日（火）13：30～16：00
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●【講演】「柿葺屋根の早期劣化の現状と課題」
［講師］京都大学大学院 農学研究科
森林科学専攻 教授　藤井 義久

❷第2回
参 加 者●30名
期　　日●平成29年予定
会　　場●木曽森林管理署（長野県木曽郡）
内　　容●柿葺資材の確保について

2）文化財研修会

参 加 者●80名
期　　日●平成29年6月16日（金）
会　　場●正暦寺（奈良市菩提山町）
内　　容●現場見学や文化財講演会を通じ、古来より先人達が築いてきた心と技を学ぶ。

❻普及啓発事業

1）特別講座

参 加 者●各50名
期　　間●平成29年6月～12月 計4回 予定
会　　場●京都研修センター（京都市東山区）
内　　容●広く一般の方々を対象に日本の伝統文化のみならず様々な分野から講師を招き、講演会を開催。

2）日本の技 体験フェア（文化庁主催）

人　　数●10名（保存会関係者）
期　　間●平成29年9月30日（土）・10月1日（日）
会　　場●さいくう 平安の杜（三重県多気郡明和町）

3) ふるさと文化財の森 森が支える日本の技術 2017公開セミナー

期　　間●平成29年11月3日(金)・4日(土)他予定
会　　場●京都研修センター(京都市東山区)他

❼文化財修理用屋根葺資材の確保事業

檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理と単価に見合う良質な檜皮や茅を確保できるよう当会の会員に一層の協力を依頼する。

❽檜皮採取の契約及び買受申込

国有林●[中部森林管理局管内]賤母・蘭(木曽)、[近畿中国森林管理局管内]地獄谷(奈良)、坂ノ谷(兵庫)、高野山(和歌山)、宮島(広島)、城山(山口)等
市有林●[河内長野市]千石谷文化財の森(大阪)
民有林●岡室(三重)、九大演習林(福岡)、楊谷寺(京都)、徳山試験地(山口)等

❾賃貸事業

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物その他の文化財を保存するための技術の継承を図るための事業を実施する法人等に施設を貸与する。

京都市文化財建造物保存技術研修センター

期　　間●平成29年4月～平成30年3月
貸 与 先●京都市、社寺建造物美術保存技術協会、文化財畳保存会及び各種選定保存技術保存団体等

❿会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報「古文化」を年3回、準会員の「手練」を年1回編集発行。

[古文化]　第114号／平成29年 7 月31日発行
　　第115号／平成29年11月30日発行
　　第116号／平成30年 3 月31日発行
[手　練]　第 12 号／平成29年 7 月31日掲載(HPのみ)

⓫その他法人の目的を達成するために必要な事業

1) 建造物パトロールの実施

パトロールするだけでなく、災害、継年による植物性屋根の状況等の相談も受け付け、保存会で出来うる補修方法、その他専門的事項について助言を行う。

2) ふるさと文化財の森システム推進事業 専門委員会

「ふるさと文化財の森設定について等」
期　　日●平成29年 予定

3) 全国文化財保存技術連合会　総会

期　　日●平成29年 予定

4) 公益社団法人 全国国宝重要文化財所有者連盟 連絡協議会

期　　日●平成30年3月 予定

収支予算書総括表

平成29年4月1日から平成30年3月31日

1．収入の部

（単位；円）

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
入会金収入	20,000	20,000						
会費収入	7,494,000	7,494,000						
寄付金収入	0	0						
国庫補助金収入	38,000,000					8,000,000	10,000,000	20,000,000
負担金収入	4,700,000				200,000	1,500,000	1,000,000	2,000,000
事業収入	14,290,000		13,790,000	500,000				
雑収入	102,140	1,030	100,100	1,010				
繰入金収入	1,500,000	0		1,500,000				
助成金	1,000,000				1,000,000			
当期収入合計	67,106,140	7,515,030	13,890,100	2,001,010	1,200,000	9,500,000	11,000,000	22,000,000
前期繰越収支差額	14,597,076	1,181,855	13,114,214	301,007	0	0	0	0
収入合計	81,703,216	8,696,885	27,004,314	2,302,017	1,200,000	9,500,000	11,000,000	22,000,000

2．支出の部

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計
一般管理費	14,878,540	6,661,000	6,815,000	1,402,540				
管理委託費	561,708			561,708				
茅場管理事業費	150,000		150,000					
売上材料原価	1,670,000		1,670,000					
養成関連事業費	400,000		400,000					
研修会事業費	1,650,000		1,650,000					
普及活動事業費	2,200,000		2,200,000					
檜皮採取事業費	9,000,000		9,000,000					
森林整備事業	500,000		500,000					
助成金事業費	1,200,000				1,200,000			
屋根養成研修費	9,500,000					9,500,000		
茅葺技能者研修費	11,000,000						11,000,000	
採取者養成研修費	22,000,000							22,000,000
繰入金支出	1,500,000		1,500,000					
当期支出合計	76,210,248	6,661,000	23,885,000	1,964,248	1,200,000	9,500,000	11,000,000	22,000,000
当期収支差額	−9,104,108	854,030	−9,994,900	36,762	0	0	0	0
次期繰越収支差額	5,492,968	2,035,885	3,119,314	337,769	0	0	0	0

檜皮採取者(原皮師)養成研修 第17期生 開講式

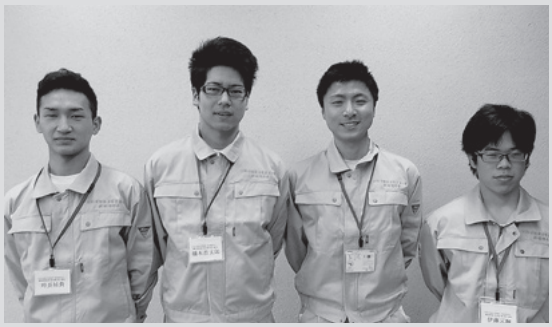
期日 ■ 平成29年4月12日(水)
会場 ■ 京都市文化財建造物保存技術研修センター

檜皮採取者(原皮師)養成研修第17期生の開講式を執り行いました。多数の御来賓、関係各位の御臨席のもと、研修生4名は緊張した面持ちで式に臨みました。

日本の歴史的遺産を次世代に継承するためには、伝統技術・技能の継承がなければ成り立ちません。今後、研修生は、決められたカリキュラムに沿って研修を受けることになりますが、文化財建造物の保存を担う者としての自覚と誇りを持ち、気を引き締めて技術の習得に努めていただきたいと思います。

[檜皮採取者(原皮師)養成研修 第17期生]

- ●時長　祐貴 ／ 岩﨑社寺工業㈱
- ●橋本浩太郎 ／ ㈱河村社寺工殿社
- ●松島　俊一 ／ 栗山木工㈲
- ●伊藤　元輝 ／ 谷上社寺工業㈱



京都市文化財建造物保存技術研修センター前にて

来賓祝辞

文化庁文化財部参事官付
（建造物担当）
修理企画部門
文化財調査官　黒坂　貴裕

檜皮採取（原皮師）養成研修第17期 開講式にあたり、一言お祝いを申し上げます。

まず、私は昨年、海外20ヶ国ほどの文化財に関わる専門家らの前で、日本の歴史的建造物やその修復について発表する機会がありました。その中で海外の専門家が最も驚き、深い興味を示していたのが檜皮葺の屋根でした。一枚一枚の緻密な葺き重ねによって構成される、優美で繊細な曲線を描く檜皮葺の屋根は、世界の中でも非常にユニークな建築であり、魅力的な伝統技術なのです。さらにその美しさを檜の樹皮という再生可能な資源で成り立たせているという点は、海外の専門家に言葉を失わせるほどでした。

さて、これまでの文化財保護は、保存と活用という文化財保護の両輪のうち、保存に重点を置いてきたと言っていいと思います。文化庁は今年度から保存修理事業の情報発信の推進をすることとしました。一般的には保存修理が始まると、観光客にとってはいわゆる名所旧跡の一つが閉鎖されるということでしたが、これからは保存修理事業中でもその文化財建造物の魅力を失うことなく、一つの活用をしていこうということです。その中で、檜皮採取や檜皮葺の魅力を発信することは、伝統技術を継承することの意義を国民のみならず世界に認めさせて、次の保存修理事業に繋げていこうということなのです。

このサイクルを成り立たせるためには、研修生の皆さんが、今回の研修で技術を身につけ、今後自己研鑽に努めていただくことで、日本が誇る伝統技術をしっかり受け継がれることが必要です。まずは、怪我をしないという現場の基本を忘れずに、有意義な研修を過ごしてください。

最後に皆様が、これから大いにご活躍されますよう祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

来賓祝辞

和歌山県教育庁生涯学習局
文化遺産課
主査　川戸　章寛

本日、第17期となります檜皮採取者（原皮師）養成研修の開講式が、このように盛大に開催されますこと、心からお喜び申し上げます。また、村上会長様はじめ、保存会の皆様方には、平素から大変お世話になっておりますこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、本日より養成研修に入られる、４名の研修生の皆さん、長期にわたる研修になると思いますが、どうぞ、健康に留意され、実り多き研修となるよう頑張っていただきたいと思います。

研修では、実技はもちろん、座学もあり、先輩方や講師の先生方から、多くのことを学ばれると思います。若い皆さんが、この研修を通じて、先輩方の技をひとつでも多く吸収し、成長されることを、切に願っております。

ところで、私が仕事をしております和歌山県では、昨年、世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」の追加登録という大きな出来事がありました。文化財に対する人々の関心もより大きくなっています。また、歴史文化を活かしたまちづくりに力をいれる町も増えてきました。高野山をはじめ、熊野や和歌山以内でも多くの観光客の方が、文化財を見学に来られます。文化財がますます多様になり、関心が高まり、観光資源としての側面にも光が当てられています。文化財行政を取り巻く環境も、どんどん変化しているように感じます。

檜皮葺の屋根は、そうした多様な文化財のなかでも、美しい日本の文化を代表するもののひとつだと思います。そして、それを作り出しているのは、職人の方々の高い技術力であり、その技術の地道な習得こそが、伝統文化を支えていると言っても過言ではありません。その、変わることのない基本を、私自身も改めて認識し、皆さんが活躍できる場を広げるよう、頑張っていきたいと考えております。

このたび、研修に入られる４名の研修生におかれましても、皆さんが習得されようとしている技術は、伝統文化の継承に不可欠な技術である、という誇りを胸に、研修にのぞんでいただきたいと思います。

最後に、研修生の皆さんの今後の活躍と保存会の益々のご発展を祈念し、簡単ではございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、本当におめでとうございました。

来賓祝辞

京都府教育庁指導部
文化財保護課
建造物担当課長　鶴岡　典慶

本日、ここに檜皮採取者（原皮師）養成研修第17期生開講式が関係者の皆様が多数臨席し、盛大に執り行われますことに対し、心からお慶び申し上げます。

日頃、全国社寺等屋根工事技術保存会におかれましては、文化財建造物の檜皮葺・柿葺及び茅葺の屋根葺技術や材料の確保等につきましてご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。京都府にはご承知のとおり数多くの植物性屋根を持つ建造物がありますが、現在、檜皮葺では国宝清水寺本堂、柿葺では国宝本願寺飛雲閣、茅葺では重要文化財の民家など、著名で重要な建造物などを含めた多くの屋根葺替工事が控えており、特に清水寺本堂のような大規模建物におきましては、一時期に多くの材料と職人さんが必要になることもあり、全体的な需要と供給のバランスがうまく回るか若干心配をしているところですが、また皆様方の御協力をお願いしたいと思います。

さて、先日、京都大学フィールド科学教育研究センターの木材流通を専門にしておられます研究者の方が、修理現場に見学にお越しになられ、檜皮の話題が出ました。檜皮の採取に関しては立木価格の下落とともに，逆に森林所有者の理解が広がっているようだとのことで、近年の学会発表でも、その辺りの話をされたようです。

また、その方がお話を聞いたある森林所有者の方は，代々檜皮の採取に協力されてきた家系らしいのですが、京都府が実施した仁和寺観音堂の修理現場を見学されたそうで、大変感動したと仰っておられたとのことでした。ヒノキ高齢林の所有者が、檜皮の採取を織り込みつつ大径材の育成に取り組んでいただければ良いのではないかとその研究者の方はおっしゃっておられます。

また木材研究者の方から、檜皮の採取による木材への影響も、熟練した作業者なら概ね避けられると考えられますとのお話もいただき、非常に心強く感じました。

今年度から国庫補助事業で修理を実施する場合、現場見学や冊子作成等の情報公開が義務づけられましたが、これまでから保存会で取り組んでいただいております広報や普及啓発活動が、一般の方にも伝わってきたのではないかとありがたく思います。

檜皮採取については、木材の専門家や生産者に対して理解が広まってきたように思われますが、一方でもし、樹木に影響のある剥き方があるようなことがあれば大変なことになりますので、この研修でしっかりと技術を習得して、大切な檜を守りながら皮が採取できるように頑張っていただきたいと思います。

最後になりますが、今後も全国社寺等屋根工事技術保存会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、文化財の普及活動へのご尽力をお願いいたしましてお祝いの言葉に代えさせていただきます。

講師祝辞

公益社団法人
全国国宝重要文化財所有者連盟
常務理事 事務局長　後藤 佐雅夫

檜皮採取者である原皮師の養成研修第17期生開講式にお招きいただき誠にありがとうございます。研修生の皆様には今日から原皮師として、第一線で研修されるわけでありますが、何事においても最初が大事であります。体調を十分管理するとともに、この世界は自分に与えられた最高の職場であることの思いを持ってください。

まず、原皮師として、木ベラ・振り縄・コロ・わく等の道具を使って作業して頂くわけですが、道具に使われないように、使いこなして頂かなければなりません。そのためには日頃の研修が大切です。幸いにして、保存会には大野浩二さんという立派な師匠がおられます。また、御尊父の故大野豊さんも文化財修理には欠かせない方で原皮のことについて私も教えていただきました。

どの職業でも最初の修行が大切であります。檜皮採取は恵まれた環境ではなく、危険も伴います。檜皮採取の現場には何回も寄せていただきましたが、道具の扱い方、その日の健康管理にも左右されます。皆様には檜皮採取のほかに、文化財の歴史や、樹木に関することも学んで頂きたいと思います。檜は芯・赤身・白太（辺材）甘皮・樹皮からなっていますが、皆様には樹皮だけ取っていただくわけで、甘皮をしっかり残して頂きたいのです。そのためには高度な技術が求められます。

私は文化財生活65年になりますが、平坦な道程ではありませんでした。どなたも恐れた西崎辰之助先生の弟子になったからです。やっと滋賀県教育委員会文化財係に就職できたのに父は喜んでくれなかったのです。西崎先生の厳しさを同業として知っていたからです。しかし、先生の最後の言葉は君がいて家族が助かったとねぎらいとも取れる言葉をいただきました。そのおかげで82歳の現在、文化財生活を続けさせていただいています。

皆様も、いやなとき、苦しいときもあることと思いますが、それを乗り越えてこそ立派な原皮師になり、文化財を支えていただく一員になれるのです。原皮師の仕事は自分に与えられた最高の職業であり、自分がいなければ文化財建造物の保存修理工事ができないんだとの信念を持って、今日からの研修を受けてください。

最後になりましたが、保存会の皆様、事務局の皆様にも感謝申し上げ、私の祝辞とします。

イベントにて実演する故大野 豊さん（写真・中央）
【写真提供／後藤佐雅夫様】

激励の言葉

京都市文化市民局
文化芸術都市推進室
文化財保護課
課長　中川　慶太

本日は、檜皮採取者（原皮師）養成研修第17期生として時長祐貴さん、橋本浩太郎さん、松島俊一さん、伊藤元輝さんの４名の方々を新しくお迎えしました。誠に喜ばしいことで、研修生の皆様は、体に気をつけて頑張っていただきたいと思っております。

今日、文化財を保護していく上で、修理に必要な材料をいかに確保し､伝統的な建築技術をいかに後世に伝え、その技術の後継者を育成し続けることができるかが、非常に重要な課題になっていると思います。

檜皮採取をはじめとした文化財を守るための技術が、「文化財の保存技術」として保護の対象になりましたのは、今から42年前、昭和50年のことです。昭和30年代から昭和40年代にかけてのいわゆる高度成長の時期にあたっており、社会や自然環境も大きく変化し、その中で建造物や美術工芸品等の修復を行う技術者の減少、高齢化が顕著となりました。また、修理するにも、資材・原材料を確保することが困難になるなど、文化財の保存そのものに大きな支障をきたすおそれが生じたことから、文化財保護法の改正が行われ、文化財の保存技術が保護の対象となりました。

そのような高度経済成長期と比べると、現在は文化的な事業に対する社会的な理解は進んでおります。しかしながら、一方で、伝統的な建造物に必要な資材の調達といった、物理的な状況は必ずしも好転はしていないという状況です。それどころか、40年前にはまだ容易に調達できた資材も、手をかけ資金をかけて育てていく時代となっております。

このような状況の下、全国社寺等屋根工事技術保存会様の取組は、文化財保護にとって非常に有意義なものであります。これまでにも、本日研修生となられました４名のような方々が、ここ京都市文化財建造物保存技術研修センターで、技術を学ばれ、全国の文化財修復の現場で御活躍されていることは、まことに心強い限りであります。

さて、皆さまもご存じのとおり、4月１日付で発足いたしました文化庁の「地域文化創生本部」が、3日から京都市東山区の庁舎で業務を開始されております。京都市におきましても､国民の貴重な財産である文化財を保護、継承することとあわせて、文化を基軸とした様々な施策と融合して、広く一般に向けて文化財に対する理解を深める事業に取り組んでまいります。これまで大切に守り伝えられてきた文化財を未来に伝えていくために、文化財の保存技術の継承は、非常に重要であり、今後とも皆様と連携し取り組んでまいりたいと存じます。

結びにあたりまして、これから養成研修を受講される皆様方には、文化財の保存技術者としてますますの研鑽に励んでいただき、将来の文化財の守り手として、御活躍されますことを祈念いたしまして、簡単ではございますが、激励の言葉とさせていただきます。

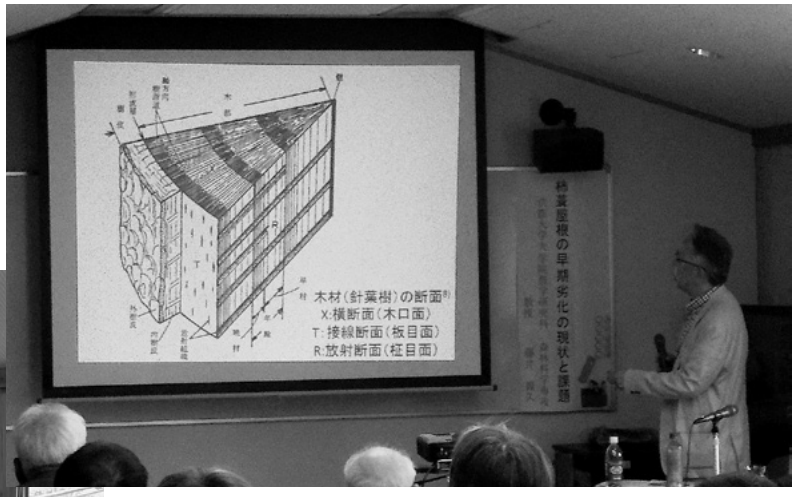
平成29年度
指導者研修会

期　日 ● 平成29年5月16日（火）
会　場 ● 文化財建造物保存技術研修センター

柿葺屋根の早期劣化の状況について調査を行われている京都大学藤井義久教授にお声がけを頂き、経過報告会を開催しました。調査については、平成25年度に1回目の報告を頂きましたが、その後の調査で収集されたデータをもとに考察をいただきました。

その後の調査でも板の乾燥状態に起因するとされる劣化物件も多く、改めて材の水分管理の重要性を認識しました。また、藤原裕子研究員からは葺込銅板の効果についての報告がありました。勘や感覚が我々には非常に大切ですが、数値をもとに客観的な視点から見たご意見を取り入れていくことも、しっかりとした技術継承には不可欠なことかと思います。

檜皮葺資材に関しては多くの方々の協力により、一定の数量は確保できる体制が整ってきました。本年度は柿葺資材の確保についても検討を始めていきたいと考えます。人材の育成と資材の確保は切っても切り離せない関係です。今後も藤井教授を始め多くの方々の協力を得ながら進めてまいりたいと思います。



「柿葺屋根の早期劣化の現状と課題」について
藤井 義久教授の講演

藤井 義久氏 プロフィール

1976年 ● 大阪府立豊中高等学校卒業
1976年 ● 京都大学農学部林産工学科入学
1980年 ● 同学科卒業
1980年 ● 京都大学農学院林産工学専攻修士課程入学
1982年 ● 同修士課程修了
1982年 ● 京都大学農学院林産工学専攻博士課程入学
1984年 ● 同博士課程中退
1984年～ ● 京都大学助手、助教授、同農学研究科准教授
2013年4月 ● 教授、現在に至る。

【研　究】木質科学

[研究テーマ]
木質資源の有効利用技術の開発

[研究概要]
AEモニタリングによるシロアリ食害の検出に関する実用化研究として小型のAE検出器の開発、PVDF を用いた新規な木材用AEセンサや種々のウェーブガイドの開発、木質住宅モニタリングシステムの開発などを行っている。さらに、シロアリから発生するメタン、水素や二酸化炭素の検出に関する研究、建設廃棄物などを用いたシロアリに対する物理的バリアの開発、住宅や文化財におけるシロアリなどによる生物劣化の実態調査とAEによる検出実験、木材・木質構造物の腐朽や虫害の非破壊検査方法として、レーダやミリ波を用いた材料の空洞や劣化部の検出に関する研究を行っている。

平成29年度
文化財研修会

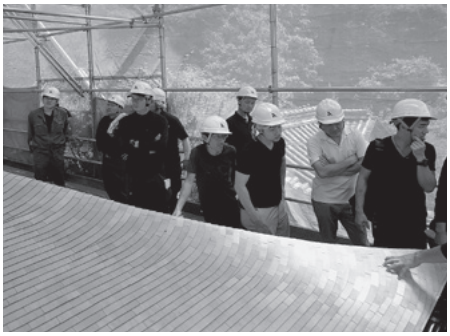
石碑「日本清酒発祥の地」の側での挨拶

期　日 ● 平成29年6月16日（金）
会　場 ● 正暦寺福寿院保存修理現場
（奈良市菩提山町157番地）
参加者 ● 114名

今年度の文化財研修会は奈良市にある正暦寺福寿院を会場に開催しました。客殿では柿葺の葺替工事が行われており、研修会当日は奈良県教育委員会 文化財保存事務所 馬塲宏道様からご挨拶をいただき、中田宏和様から修理概要の説明を受けたのち、修理現場見学、正暦寺住職 大原弘信様の講話、当会名誉会長 鈴木嘉吉の講演と多くの内容を実施し、様々な角度から知識を深める場といたしました。今後もこういった研修会を通じ、地域の皆さんへの理解も広げながら、技術者にとっては知識の研鑽の場となるよう進めていきたいと思います。

最後に、研修会にご協力いただきました正暦寺住職大原様を始め、関係各位にこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。

左から、奈良県教育委員会 馬塲宏道様（写真・中央）・中田宏和様の挨拶及び現場説明



正暦寺福寿院保存修理現場の見学

当会名誉会長
鈴木嘉吉の講演

正暦寺住職
大原弘信様の講話

講演会場 正暦寺客殿

文化財屋根葺士養成研修 第22期生 後期研修 始まる

平成29年度国庫補助事業としての第22期文化財屋根葺士養成研修の後期研修が 平成29年5月8日から始まりました。今年度は京都府教育庁 指導部文化財保護課の現場主任、小宮様による解体・保存法、また(一財)建築研究協会の中尾様による日本建築の構造と仕様の座学をはじめ、実技、建築史演習、製図等、約5カ月に及ぶ研修を行います。

技術面では、切妻屋根の模型を研修生だけで葺きあげる実習や、その屋根を修めるための役物皮の材料整形、現場実習等を経験し、9月の末からは当会賛助会員の厳島神社様の境内にて、研修の集大成ともいえる「卒業現場実習」として実際の檜皮葺屋根を研修生のみで修める実習も行います。研修生においては、お互いに切磋琢磨し日々を無駄に過ごさず、前向きな姿勢で取り組んでいって欲しいと思います。

また最後になりますが、この養成研修が有意義なものとなるよう関係各位の御指導・御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

見学

現場見学

実測実習

見学

座学

檜皮の拵え実習

模型実習

模型実習

模型実習

模型実習

模型実習

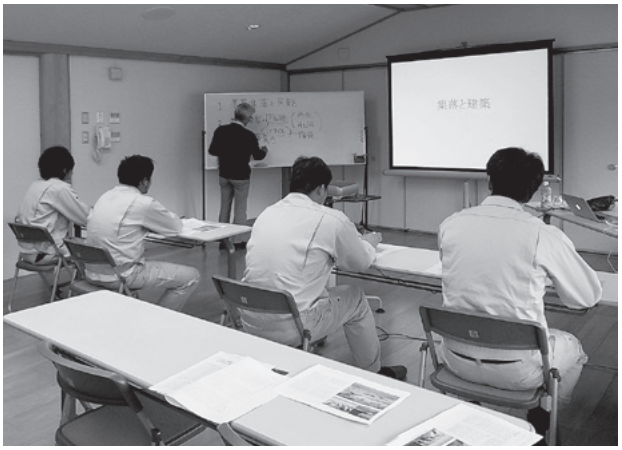
現場実習

現場実習

平成29年度
茅葺初級研修 後期開始

おかげをもちまして、茅葺初級生後期のカリキュラムを開始することができました。昨年に引き続き４名の研修生で行います。初級生と言いましても３年以上の経験のある者ですから、より充実した内容になると思っております。経験を重ねるごとに明らかに、考えや目標も変わってきます。京都研修センターでの講義は、講師の方も昨年同様ですので、より深く掘り下げての内容となっております。そして研修生からの質問は昨年にもまして多くなっており、本当に嬉しく、頼もしく思います。

山南研修センターでの模型実習では、切妻の屋根（伊勢神宮の形）をモデルにし、徹底的に指導しています。講師の方も、今なら式年遷宮を経験された方が多数おられ、今のうちに引き継いでほしいという思いを持たれております。やはり隅を収めるうえで切妻は一番難しいと考えます。ここでじっくりと研修し、20年後の式年遷宮には、少しでもこの経験を活かせていただけたらと思っております。



座学

模型実習

模型実習

模型実習

模型実習

特別講座
【29年度の予定】

●定員は50名程度（参加費無料）

●参加希望の方は事務局までご連絡ください。
E-mail：info@syajiyane-japan.org

第1回講座　「文化財修理と国際交流」

日　時 ● 平成29年8月5日㊏ 14：00～16：00
会　場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

［講師］株式会社 宇佐美松鶴堂
9代目 **宇佐美　直八**

【プロフィール】

昭和33年8月11日 ● 京都市生まれ。
昭和58年3月 ● 佛教大学文学部卒業。
昭和58年4月 ● ㈱宇佐美松鶴堂に入社。文化財修復技術を習得しながら、先代の下で育った技術者が各国博物館で従事している現場を視察協力。
昭和59年 ● フリーア美術館（ワシントンDC）で短期間研修。
平成7年 ● ウイーン近郊でICCROMに参加し（約2ヶ月間）、多国の技術者と共に研修を重ね交流を図る。
平成14年 ● 代表取締役に就任。主な工事としては、京都迎賓館表具工事、東西本願寺の阿弥陀堂及び御影堂障壁画修理にも携わる。
平成24年10月25日 ● 8代目直八逝去。（享年86歳）
平成26年11月 ● 9代目直八を襲名。現在に至る。

会　員　名　簿

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の会員名簿をご紹介いたします。届け出内容等に変更がございましたら、事務局 Tel 075-541-7727 か Fax 075-532-4064 までお知らせください。

■法人登録（檜皮・柿・採取部門）

No.	正会員名	代表者名（担当者名）	〒	住所	TEL	FAX
1	㈲池田社寺	池田民哉（池田 民哉）	815-0037	福岡市南区玉川町17-19	092-541-7593	092-512-8288
2	㈲石塚商店	石塚直幸（石塚 直幸）	669-3154	兵庫県丹波市山南町梶525-1	0795-76-1064	0795-76-2119
3	岩﨑社寺工業㈱	岩﨑剛（岩﨑 剛）	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
4	㈲大城戸社寺工業	大城戸昇（大城戸 昇）	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田432	0795-28-4631	0795-28-4682
5	㈱大野檜皮工業	大野浩二（大野 浩二）	669-3101	兵庫県丹波市山南町上滝855	0795-78-0352	0795-71-4129
6	㈱小山社寺工業所	小山眞人（小山 眞人）	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
7	狩野興建㈱	狩野邦成（狩野 邦成）	812-0054	福岡市東区馬出5-26-11	092-651-2345	092-651-3060
8	㈱河村社寺工殿社	河村雅史（河村 雅史）	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
9	岸田工業㈱	岸田信行（岸田 信行）	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
10	㈲吉川社寺	吉川晋二（吉川 昌治）	699-1822	島根県仁多郡奥出雲町下横田457-1	0854-52-2026	0854-52-2168
11	栗山木工㈲	栗山弘忠（栗山 弘忠）	399-5504	長野県木曽郡大桑村野尻2271-6	0264-55-2134	0264-55-4034
12	㈱児島工務店	児島研輔（児島 研輔）	700-0827	岡山市北区平和町4-7	086-232-2223	086-223-9424
13	㈲社寺工芸大紀堂	大城戸一秀（大城戸一秀）	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田268-2	0795-28-3005	0795-28-4784
14	田中社寺㈱	田中敬二（田中 敬二）	500-8483	岐阜市加納東丸町2-20	058-272-2871	058-276-1329
15	谷上社寺工業㈱	谷上永晃（谷上 永晃）	633-0053	奈良県桜井市谷旭町904-2	0744-42-2790	0744-42-5389
16	㈱友井社寺	友井辰哉（友井 辰哉）	669-3111	兵庫県丹波市山南町阿草1302	0795-78-0810	0795-78-0002
17	㈱松村工務店	松村正徳（松村 正徳）	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-0600
18	㈲宮川屋根工業	宮川義史（宮川 義史）	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040
19	㈱村上社寺工芸社	村上英明（村上 英明）	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場443-1	0795-78-0158	0795-78-0708

■法人登録（茅部門）

No.	正会員名	代表者名（担当者名）	〒	住所	TEL	FAX
20	明石屋根工事㈲	長﨑眞知夫（長﨑 眞知夫）	701-0303	岡山県都窪郡早島町前潟126-2	086-482-0056	086-483-1212
21	㈱上野建設	上野千代榮（上野 千代榮）	037-0316	青森県北津軽郡中泊町芦野字堤の袖148-75	0173-57-3825	0173-57-3227
22	㈲大西茅葺	大西謙之（大西 謙之）	578-0924	大阪府東大阪市吉田1丁目12-20	072-961-6015	072-961-6015
23	㈱奥日田美建	三苫義久（三苫 義久）	877-0038	大分県日田市大字竹田375-11	0973-22-3423	0973-22-3423

24	㈲熊谷産業	熊谷秋雄 （熊谷 秋雄）	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎340	0225-67-2045	0225-67-2032
25	ニシオサプライズ㈱	西尾晴夫 （西尾 晴夫）	601-0751	京都府南丹市美山町島英サ29	0771-75-5088	0771-75-5087
26	美山茅葺㈱	中野　誠 （中野　誠）	601-0712	京都府南丹市美山町北高倉69	0771-77-0649	0771-77-0650
27	山城萱葺㈱	山田雅史 （山田 雅史）	610-0121	京都府城陽市寺田中大小100	0774-55-6912	0774-27-2186

■個人登録（檜皮・柿・採取部門）

No.	正会員名	屋　号	〒	住　所	TEL	FAX
28	大西安夫	播磨社寺工芸	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町黒田1000	0795-28-2451	0795-28-2451
29	木下岩男	木下社寺建築	526-0814	滋賀県長浜市石田町588	0749-62-7160	0749-62-7186
30	楠本浩史	檜皮葺古家	648-0211	和歌山県伊都郡高野町高野山73-4	0736-56-2154	0736-56-2158
31	小西繁俊	小西工芸	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山526-2	07463-2-8510	07463-2-8510
32	阪上　卓	阪上組	648-0037	和歌山県橋本市賢堂182	0736-32-0791	0736-32-0791
33	佐々木真	㈲ひわだや	753-0036	山口市円政寺町5-4	083-922-1651	083-922-1800
34	杉本惣一	㈲屋根惣	616-8041	京都市右京区花園寺ノ前町26	075-464-5970	075-464-5970
35	長谷部直之	溝口屋根工務	602-0036	京都市上京区室町通今出川上ル西入蒔鳥屋町143	075-451-3563	075-415-1388
36	山香　正	正藤社寺	872-0103	大分県宇佐市北宇佐1551	0978-37-3393	0978-37-3393

■個人登録（茅部門）

No.	正会員名	屋　号	〒	住　所	TEL	FAX
37	杉山信義	飛騨かやぶき	501-5417	岐阜県高山市荘川町野々俣571-21	05769-2-2555	05769-2-2036
38	隅田隆蔵	茅葺隅田	633-2136	奈良県宇陀市大宇陀区大熊579	0745-83-2870	0745-83-2870
39	田中正光	山田茅葺業	632-0121	奈良県天理市山田町2252	0743-69-2198	0743-69-2198

■名誉会員

No.	名誉会員名	〒	住　所	TEL	FAX
1	岩崎長蔵	526-0814	滋賀県長浜市石田町493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
2	小山儀一郎	812-0054	福岡市東区馬出5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
3	河村直良	520-0113	滋賀県大津市坂本2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
4	岸田重信	607-8464	京都市山科区上花山久保町74-1	075-593-2325	075-581-9498
5	熊谷貞好	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦南釜谷崎340	0225-67-2045	0225-67-2032
6	松村正義	529-1521	滋賀県東近江市蒲生岡本町915	0748-55-2105	0748-55-0600
7	宮川友一	604-0985	京都市中京区麩屋町通竹屋町上ル舟屋町415	075-231-3396	075-212-2040

（2017.4.1 現在・第 1 回改訂版 5.16）

■賛助会員

No.	職別	名称	〒	住所	TEL
1	社寺	闕伽井坊	744-0024	山口県下松市末武上398	0833-44-8409
2		天野山金剛寺	586-0086	大阪府河内長野市天野町996	0721-52-2046
3		伊賀八幡宮	444-0075	愛知県岡崎市伊賀町東郷中86	0564-26-2789
4		石山寺	520-0861	滋賀県大津市石山寺1-1-1	077-537-0013
5		石上神宮	632-0014	奈良県天理市布留町384	0743-62-0900
6		厳島神社	739-0588	広島県廿日市市宮島町1-1	0829-44-2020
7		出雲大社	699-0701	島根県出雲市大社町杵築東195	0853-53-3100
8		石清水八幡宮	614-8588	京都府八幡市八幡高坊30	075-981-3001
9		宇佐神宮	872-0102	大分県宇佐市南宇佐2859	0978-37-0001
10		永保寺	507-0014	岐阜県多治見市虎渓山町1-40	0572-22-0351
11		比叡山延暦寺	520-0116	滋賀県大津市坂本本町4220	077-578-0551
12		大崎八幡宮	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡4-6-1	022-234-3606
13		大神神社	633-8538	奈良県桜井市三輪1422	0744-42-6633
14		大山祇神社	794-1393	愛媛県今治市大三島町宮浦3327	0897-82-0032
15		意賀美神社	598-0024	大阪府泉佐野市上之郷45	072-468-0540
16		尾張大國霊神社	492-8137	愛知県稲沢市国府宮1-1-1	0587-23-2121
17		園城寺	520-0036	滋賀県大津市園城寺町246	077-522-2238
18		鹿島神宮	314-0031	茨城県鹿嶋市宮中2306-1	0299-82-1209
19		春日大社	630-8212	奈良市春日野町160	0742-22-7788
20		香取神宮	287-0017	千葉県香取市香取1697	0478-57-3211
21		賀茂神社	671-1332	兵庫県たつの市御津町室津74	079-323-3171
22		賀茂御祖神社	606-0807	京都市左京区下鴨泉川町59番地	075-781-0010
23		賀茂別雷神社	603-8047	京都市北区上賀茂本山339	075-781-0011
24		吉備津神社	701-1341	岡山市北区吉備津931	086-287-4111
25		吉備津彦神社	701-1211	岡山市北区一宮1043番地	086-284-0031
26		清水寺（京都）	605-0862	京都市東山区清水1-294	075-551-1234
27		清水寺（安来）	692-0033	島根県安来市清水町528	0854-22-2151
28		金峯山寺	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山2498	0746-32-8371
29		杭全神社	547-0046	大阪市平野区平野宮町2-1-67	06-6791-0208
30		熊野那智大社	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山1	0735-55-0321
31		熊野本宮大社	647-1731	和歌山県田辺市本宮町本宮1110	0735-42-0009
32		気多大社	925-0003	石川県羽咋市寺家町ク1-1	0767-22-0602

No.	職別	名称	〒	住所	TEL
33	社	高良大社	839-0851	福岡県久留米市御井町1	0942-43-4893
34		國前寺	732-0048	広島市東区山根町32番1号	082-261-4578
35		国分寺（備中）	719-1123	岡山県総社市上林1046	0866-92-0037
36	寺	金剛輪寺	529-1202	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873	0749-37-3211
37		護国八幡宮	932-0836	富山県小矢部市埴生2992	0766-67-1220
38		西明寺	522-0254	滋賀県犬上郡甲良町池寺26	0749-38-4008
39		真珠庵	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町52	075-492-4991
40		慈眼院	598-0021	大阪府泉佐野市日根野626	072-467-0092
41		十三神社	640-1235	和歌山県海草郡紀美野町野中493	073-495-3755
42		浄土寺	722-0043	広島県尾道市東久保町20-28	0848-37-2361
43		住吉神社	751-0805	山口県下関市一の宮住吉1-11-1	0832-56-2656
44		住吉大社	558-0045	大阪市住吉区住吉2-9-89	06-6672-0753
45		瑞龍寺	933-0863	富山県高岡市関本町35	0766-22-0179
46		善光寺	380-0851	長野市元善町491	026-234-3591
47		談山神社	633-0032	奈良県桜井市多武峰319	0744-49-0001
48		醍醐寺	601-1325	京都市伏見区醍醐東大路町22	075-571-0002
49		大徳寺	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町53	075-491-0019
50		太宰府天満宮	818-0195	福岡県太宰府市宰府4-7-1	092-922-8225
51		竹林寺	739-2208	広島県東広島市河内町入野3103	082-437-1171
52		智満寺	427-0001	静岡県島田市千葉254	0547-35-6819
53		長福寺	701-2602	岡山県美作市真神414	0868-74-2026
54		津島神社	496-0851	愛知県津島市神明町1	0567-26-3216
55		出羽三山神社	997-0292	山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7	0235-62-2355
56		東福寺	605-0981	京都市東山区本町15丁目778	075-561-0087
57		那谷寺	923-0336	石川県小松市那谷町ユ122	0761-65-2111
58		那智山青岸渡寺	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8	0735-55-0001
59		南宮大社	503-2124	岐阜県不破郡垂井町宮代1734-1	0584-22-1225
60		野上八幡宮	640-1141	和歌山県海草郡紀美野町小畑625	073-489-2162
61		八幡神社（柏原）	669-3309	兵庫県丹波市柏原町柏原八幡山1-1	0795-72-0156
62		日御碕神社	699-0763	島根県出雲市大社町日御碕455	0853-54-5261
63		日吉大社	520-0113	滋賀県大津市坂本5-1-1	077-578-0009
64		広八幡神社	643-0064	和歌山県有田郡広川町上中野206	0737-62-2371
65		富士山本宮浅間大社	418-0067	静岡県富士宮市宮町1-1	0544-27-2002

No.	職別	名称	〒	住所	TEL
66	社寺	法隆寺	636-0115	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1	0745-75-2555
67		法華経寺	272-0813	千葉県市川市中山2-10-1	047-334-3433
68		本山寺	708-1536	岡山県久米郡美咲町定宗403	0868-62-1050
69		御上神社	520-2323	滋賀県野洲市三上838	077-587-0383
70		御調八幡宮	722-1513	広島県三原市八幡町宮内13	0848-65-8652
71		三船神社	649-6123	和歌山県紀の川市桃山町神田101	0736-66-1620
72		美保神社	690-1501	島根県松江市美保関町美保関608	0852-73-0506
73		妙成寺	925-0002	石川県羽咋市滝谷町ヨ-1	0767-27-1226
74		宗像大社	811-3505	福岡県宗像市田島2331	0940-62-1311
75		八坂神社	563-0043	大阪府池田市神田4-7-1	072-751-3790
76		吉野水分神社	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山1612	07463-2-3012
77		龍源院	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町82-1	075-491-7635
78		瑠璃光寺	753-0081	山口市香山町7-1	083-922-2409
79		六所神社	444-0864	愛知県岡崎市明大寺町字耳取44	0564-51-2930
1	その他	神宮司庁営繕部	516-0023	三重県伊勢市宇治館町1	0596-24-1111
2		髙林家住宅	591-8037	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5-647	072-255-6998

（2017.6.1 現在）

■準会員

［五十音順］

No.	氏　　名
1	青木 胤勲
2	青木 照幸
3	青山　亨
4	赤嶺 尚耶
5	赤嶺　怜
6	朝野 達也
7	芦田 健太
8	蘆田 祐明
9	足立 健一
10	足立　大
11	安部 悟司
12	飯野 映稚
13	池田 陽輔
14	石井　潤
15	石井 規雄
16	石川 良三
17	石塚 健一
18	井関 善晴
19	市原　健
20	一色 律男
21	井手 荘和可
22	伊藤 貴弘
23	伊藤 延行
24	伊藤 元輝
25	伊東 洋平
26	糸賀 一道
27	井上 裕貴
28	入江　匠
29	岩﨑　正
30	上野 英樹
31	上村　淳
32	梅澤 朋充
33	瓜生 玉樹
34	大崎　悠
35	大藤 義一
36	大西 康純
37	大野 沙織
38	大野 隼矢
39	岡　裕紀
40	岡田 和申
41	緒方 伸也
42	岡野 史和
43	岡本 葉澄
44	岡山 春樹
45	奥田 治郎
46	奥田 正博
47	奥田　譲
48	奥谷 大樹
49	尾崎 良助
50	小澤 翔太
51	方山 和也
52	勝部 哲也
53	加藤 貴規
54	金谷 史男
55	金礒　豊
56	包國 眞匠
57	金子 英生
58	上出　健
59	亀井 輝彦
60	嘉本 洋士
61	川田 徳宏
62	川西 鹿久介
63	河野 修二郎
64	菊地 健倫
65	菊池　保
66	岸田 直彦
67	吉川 圭一
68	吉川 晋二
69	木下 和也
70	木下 真介
71	木村 健太
72	清田 幸臣
73	國本 雅史
74	熊谷 一雄
75	栗山 光博
76	栗山 雄二
77	栗山 芳博
78	小池 一平
79	古川 一敏
80	児島 真介
81	児玉 典史
82	後藤 哲夫
83	小西 繁信
84	小林 正之
85	小原 一樹
86	駒　宏樹
87	近藤 竜太
88	酒井 慶伍
89	寒河江 清人
90	坂口 哲也
91	佐々木 孝則
92	佐治 円創
93	澤田 昌己
94	塩田 隆司
95	須賀　均
96	須賀 将志
97	杉井 喜雄
98	杉谷　功
99	大下倉 優
100	髙島 優雅
101	高平 勝也
102	竹森 暢哉
103	武山 貞秋
104	立木 覚士
105	田中 順也
106	田中 慎一
107	田中 貴也
108	田中 智紗衣
109	寺田 美乃里
110	戸梶 憲幸
111	時長 祐貴
112	中尾 隆二
113	長﨑 貴宣
114	永瀬 慶祐
115	長野 直人
116	永原 光敬
117	中村 裕司
118	中森 千尋
119	西　裕之
120	西内 久恵
121	西堀 大樹
122	西村 聡央
123	西村 信生
124	沼澤 修一
125	野上 邦彦
126	野谷 嘉邦
127	BAATARSUREN BAT ERDENE
128	橋本 浩太郎
129	林　直希
130	原田 暢俊
131	東　友一
132	檜　篤広
133	平田 将大
134	平野 健太郎
135	平野 裕也
136	廣内　翔
137	深本 英昭
138	福岡 亮太
139	藤中 竜也
140	渕上 大輔
141	細見 和希
142	細見 知憲
143	細見　裕
144	堀内 博樹
145	本多 亮貴
146	毎熊 徳満
147	槇原 孝宜
148	松木 裕紀
149	松島 俊一
150	松村 省弥
151	松村 純孝
152	松村 有記
153	三上 和夫
154	三上　直
155	三木 宏祐
156	道繁　康
157	三ツ出 俊平
158	緑川 幹雄
159	峰地 幹太
160	三又 誠也
161	向田　学
162	村岡 伸康
163	村上 章浩
164	村上 貢章
165	森　壮馬
166	森山 淳希
167	矢野 友則
168	山口 成貴
169	山口 宗平
170	湯田 詔奎
171	湯野 尚一郎
172	吉川 一生
173	吉竹 秀紀
174	余宮 祥平
175	和田 琢男
176	渡辺 昌弘
177	渡部 雄太

（2017.4.1現在）

発　行　所
京都市東山区清水二丁目 205-5
文化財建造物保存技術研修センター内

公益社団法人　全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064
http://www.shajiyane-japan.org

古文化 第114号
平成 29 年 7 月 31 日発行

あ と が き

7月5日から6日にかけて九州に記録的な集中豪雨がありました。特に、福岡県朝倉市、大分県日田市では大規模な河川の氾濫、土砂崩れなどが発生して、多くの家屋が流されるなどの被害に遭いました。たくさんの人々が亡くなられ、今もなお行方不明者の捜索活動は続けられています。被災された方々に、お悔やみとお見舞い申し上げます。その後も全国各地で豪雨は相次ぎました。と同時に、いよいよ梅雨も明け、今度は全国的な猛暑が続いております。特に現場で働く皆様は、水分と休憩をこまめにとり、熱中症に十分気を付けて作業をしてください。

乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

●北から南から

■ ふ る さ と 探 訪 ■

大西 安夫さんの古里

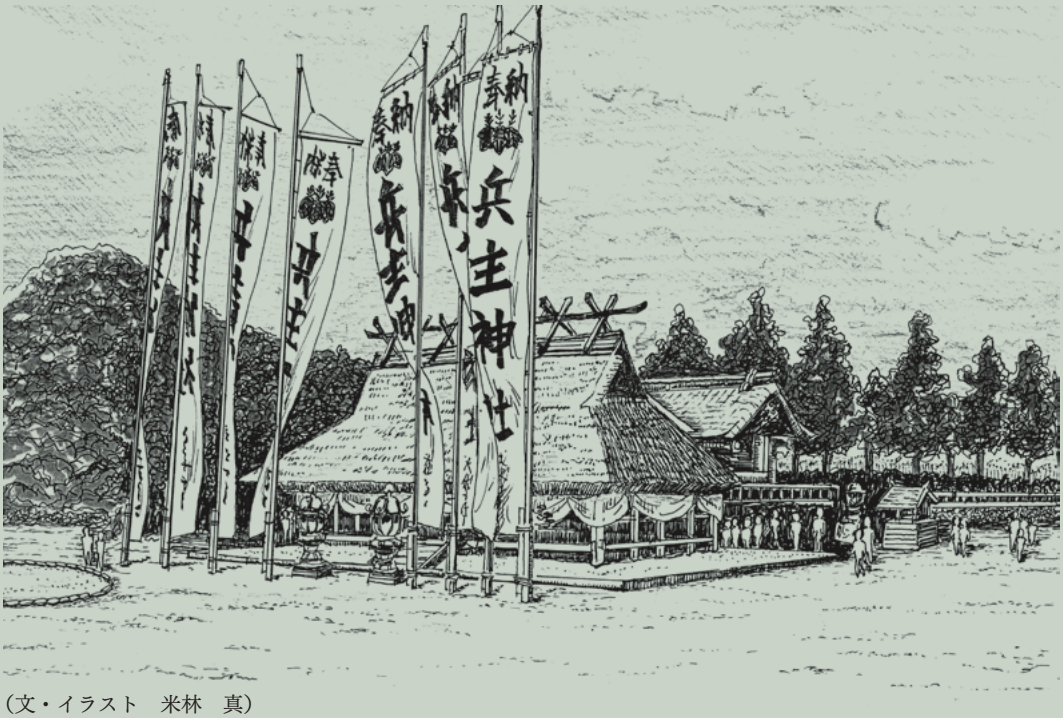
「黒田官兵衛生誕の里」

（兵庫県西脇市黒田庄町黒田）

京都から西へ約80㎞、中国山地の谷あいを縫うように伸びる街道を分け入って行くとにわかに目の前が開け、ぽっかりと青空が広がる。周囲を山に囲まれたこの田園地区が大西安夫さんのふるさと兵庫県西脇市黒田庄だ。「庄」の字が付く地名は全国に点在していて、奈良・平安時代に地元の有力貴族や寺院の所有になる荘園があったことを示す。山深い黒田の地が千年以上も前から拓けていたということは、地域内に鎮座する神社仏閣の由緒からも分かる。

黒田庄町岡の兵主（ひょうず）神社は奈良時代中期の754年創建とされ、赴任してきた国司が森林を開拓して社殿を建てたという記録がある。今日に至るまでの1200年間には、地震や火災に見舞われたこと一度や二度ではあるまい。倒壊、焼失があってもその度再興させるものがいたからこそ神社は古代そのままの姿で今もこの地に存続している。現在の拝殿は全国的にも珍しい安土桃山時代の建築様式を残す茅葺の入母屋屋根を持ち、棟札には羽柴秀吉臣下・黒田孝高の奉納金によって改築されたとある。黒田孝高とはＮＨＫ大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公で、如水の号でも知られる黒田官兵衛のことだ。彼は戦勝祈願のためにこの神社を訪れ、境内には官兵衛が馬をつないだという松の古木もあった。残念ながら30年ほど前に伐採され、今はその切株だけが歴史の証人となっている。

姓は動く地名だという。官兵衛はここ黒田庄を出自としているがゆえに黒田官兵衛なのだ。大西安夫さん宅に近い荘厳寺（しょうごんじ）に残された系図によれば、黒田家は室町時代以来九代二百数十年に渡ってこの地を治めていて、官兵衛は八代城主黒田重隆の子として生まれたと明記されている。もっとも江戸時代の儒者貝原益軒の著書に官兵衛は姫路の生まれとあり、この説を有力視する向きも多い。黒田庄には2014年になって地元の名誉を守るかのように「黒田官兵衛生誕の里」と銘打った堂々たる石碑が建立された。



（文・イラスト　米林　真）

古文化

第114号

公益社団法人　全国社寺等屋根工事技術保存会